

正しく飼ってペットも人も幸せに！

子ども達に犬とのふれあい方を教えるセンター職員



私達の町の犬猫事情

町における犬の登録頭数は平成19年3月末現在2789頭で、この3年で約300頭増え、年々増加する傾向にあります。狂犬病予防法の中で、すべての飼い主は犬を登録し、年に1回狂犬病の予防注射を受けさせることが義務付けられています。狂犬病の予防注射は動物病院で受けることが

ペットブームと言われる現在、ともに暮らす動物を家族の一員ととらえる人も多くなってきましたが、動物を取り巻く社会の状況はよくなっているのでしょうか。私達に安らぎと癒しを与えるペット達。ペットとの生活を楽しくするには、その習性を正しく理解して人の社会環境にうまく適応させる必要があります。今回は猪名川町を含む阪神間を管轄する兵庫県動物愛護センターを訪ね、地域の中で人と動物との共生について考えてみました。

動物愛護センターの役割

尼崎市西昆陽の武庫川沿いにある兵庫県動物愛護センターは平成10年4月のオープン以来、動物の正しい飼い方や動物愛護の精神を広める

できるほか、町でも毎年春に集団注射を行っています。ペットが増え、一方で犬はフンの始末やリードなしでの散歩、猫については公園の砂場を汚す、安易にエサを与えて野良猫が増えるといったことが常に問題となっています。

マナーを守り責任ある行動を

犬の登録と狂犬病予防注射

犬を飼い始めたら必ず登録し、生後91日以上の子犬には年1回予防注射を受けさせなければなりません。

問合せ 環境対策室 (766-8712)

犬のしつけ

罰を与えず家族全員でほめてしつけをし、人と一緒に暮らすためのルールを繰り返し教えましょう。

避妊・去勢

発情期がなくなり安定した生活が送れるほか、繁殖防止や性ホルモンに起因する病気などの予防にもつながります。

放し飼いの禁止

人に迷惑をかけないために、犬には必ずリードをつけ、猫は交通事故や病気予防のために室内で飼うのが基本です。

フンの後始末

フンはビニール袋に入れて持ち帰り、燃えるゴミとして捨てましょう。



▲犬鑑札(左)と狂犬病予防注射済票(右)



▲犬にはリードをつけ、フン用のビニール袋を用意して散歩させましょう

ことをめざし、犬猫の引き取りや動物から感染する病気の対策などの管理的な仕事と、犬の譲渡や動物とのふれあいをしています。

ペットショップで多数の犬や猫が販売されている一方、

処分される多くの命

平成17年度に全国で処分された犬は13万頭、猫は23万頭、のぼります。野犬の減少により犬の処分数は減ってきていますが、猫に関しては横ばい



兵庫県動物愛護センター

尼崎市西昆陽4丁目1-1 06-6432-4599



犬の譲渡について

動物愛護センターでは、収容や引き取った犬のうち、健康で家庭犬としての資質を持つ犬を譲渡候補犬としています。これまでに453頭の犬が譲渡され、そのうち14頭は猪名川町で幸せに暮らしています。

譲渡候補犬には、寄生虫の駆除や各種ワクチンの接種を行ったり、「すわれ」などの基本的な服従訓練を教えます。

また、職員は譲渡希望者と面談を行い、適正に飼うことができるかと判断すれば、犬の避妊・去勢手術、飼育管理の方法などについての講習を行った後に譲渡しています。

地域で犬の正しい飼い方を広めることを目的として、譲渡後も職員が家庭訪問をしてアドバイスを行ったり、しつけ教室を実施しています。

センター職員の三谷さん



動物と地域の関係がよくなるのが私たちの願いです。正しい知識を持って楽しく飼ってもらいたいですね

犬も飼い主も一緒に楽しめる譲渡犬飼い主の会

「オンリーわん倶楽部」

譲渡犬の飼い主が自主的に運営する「オンリーわん倶楽部」は平成16年9月に設立され、多くの飼い主が会員となり、センターと連携しながら飼い主間の親睦・交流を図っています。

この日は気楽に集まれる月に1度の「ちょこっと同窓会」があり、10数匹の犬と飼い主で会場はにぎわいました。川西市の平川さんのマロンと宝塚市の横川さんのヴィーヴォの2匹は、2年前に譲渡犬として譲り受けた兄弟犬です。

平川さんは「困ったことがあれば、すぐにセンターの人に相談できますし、楽しく参加させてもらっています。兄弟犬のヴィーヴォや他の犬と接することで、犬も社会性が身に付きますよ」と笑顔で話されました。



▲兄弟犬のヴィーヴォ(左)とマロン(右)

動物達の幸せは私達の心構え次第

私達の心構え次第

ペットを飼うには手間も時間もお金もかかります。ペットも生き物ですから病気になってもあるでしょうし、年をとれば人間と同じで介護が必要になることもあります。ペットを飼いたいと思った時には、家族に動物アレルギーがないか、住宅はペット禁止ではないかなどよく確認してください。さらに、出産や高齢化といった今後の家族の変化も考慮し、本当に一つの

です。兵庫県動物愛護センターで収容された生後90日までの子犬の70%は新しい飼い主に譲渡されます。しかし、成犬については飼い主に返還された迷い犬が34%、譲渡が7%、残り59%が安楽死、猫に至ってはほとんどが処分されているのが現状です。

後編 編集後記



最近、愛犬家は犬の散歩の際にペットボトルに水を入れて持ち歩き、犬が電柱や道路におしっこをした時に水をまいて流すそうです。このように飼い主が心配りをし、マナーを守ることで、大切な家族の一員であるペットが社会に受け入れられるようになるのだと思います。ペットとの信頼関係を築きながら、人もペットも楽しく暮らすことができるようになりますね。

【いながわ特派員】